

2023年1月6日

和歌山市長
尾花 正啓 様



姫田高宏
南畠幸代
中村朝人
坂口多美子
井本有一

新型コロナウイルス感染症対策への緊急申し入れ（第11次）

新型コロナ第8波によって、医療のひっ迫が深刻となっています。高齢者施設のクラスター発生件数、死亡者数は第7波に迫っており、救急搬送困難事例も急増しています。感染者数・死亡者数の多さ、後遺症の深刻さなどからも引き続き警戒を強めることが必要です。しかし、政府から新型コロナ感染に関する情報がほとんど伝わらない状況が続いています。

このような状況のもとで、先日、クラスターが発生した高齢者施設で働く医療従事者から「急な感染拡大にスタッフが対応できずに恐ろしい状況となった。人材不足になったとき支援に入ってもらえるような仕組みを作ってほしい」との相談がありました。

これまで、医療体制の確保、介護施設への支援策、検査の拡充など要請を重ねてきましたが、改めて高齢者をはじめ市民の命を守るため、以下の対策を早急に行っていただくよう申し入れます。

記

1. 高齢者施設の感染予防とクラスター発生への対応について、支援を強化すること。
 - ① クラスター発生時のスタッフ不足に対処した緊急人材派遣の仕組みをつくり、周知すること。
 - ② 各施設へ、N95 マスクやガウン予防着などの PPE（個人用防護具）を提供し、正しい使用方法（着脱の仕方など）を、より具体的に動画などで周知すること。
 - ③ 各施設へ抗原検査キットを提供すること。
 - ④ ザーニング設置など早急に行うために、専門職派遣を含む感染対策指導は、クラスター発生時に速やかに行うこと。
 - ⑤ クラスター発生による減収に対する補填を行うこと。
 - ⑥ 施設の換気・空気清浄装置へのさらなる支援を行うこと。
2. 高齢者の有症状患者の入院などを積極的に進めること。
 - ① 高齢者に特化した療養施設、臨時の医療機関の開設などを積極的に進め、稼働病床の拡大も含めた積極的な受け入れ体制の強化を進めること。
 - ② 高齢者施設にとどまるなどを余儀なくされた場合にも、抗ウイルス薬の適切な処方など早期治療が行えるよう対策を強めること。
3. 第 8 波の感染状況について、医療機関、介護施設の実態を含めて、情報発信の抜本的強化を国に求めること。

以上